

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉に関する制度とサービス I		(精) 必修 (社.発) 選択	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
宮澤 江梨子	B313	eriko.miyazawa		木曜日 10:30~12:30	
授業の目的・概要	<p><目的>精神障害や精神疾患により生活に困難を抱える人々の生活の歴史の変遷や、法制度が生活に与える影響を理解するとともに、生活者としての精神障害者がよりよく生きる為に必要な施策、制度とは何かを理解する。その上で、精神保健福祉士として援助に必要な知識を習得することを目的とする。</p> <p><概要>教科書を中心に、精神保健福祉に関する実際の制度やその活用について解説する。適宜、資料を用いて授業を進める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	法制度は変化するものであるため、日々ニュースなどで時事問題に目を向けることが望ましい。また、疑問をそのままにせず積極的に質問をすることで理解を深めてほしい。				
教科書	新・精神保健福祉士養成講座第6巻 精神保健福祉に関する制度とサービス/編：日本精神保健福祉士養成校協会/中央法規出版				
参考書	特になし。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	現行の精神保健福祉法に至る経緯とその意義を理解し、説明することができる。			HSU(2)、WP(5)	
②	精神障害者の生活支援の視点から社会保障制度等の目的を説明することができる。			HSU(2)、WP(5)	
③	精神保健福祉士の視点から、支援場面での制度の活用を想定することができる。			HSU(2)、WP(1)~(3)、(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション：授業概要・進め方、評価方法を理解する。	講義	次回講義範囲の教科書を読む。	4	
2	社会保障の構造的理解とライフサイクルからみた精神保健福祉について学ぶ。	講義	復習と次回講義範囲の教科書を読む。	4	
3	精神病患者監護法から精神保健法成立までの経緯を学ぶ①	講義		4	
4	精神病患者監護法から精神保健法成立までの経緯を学ぶ②	講義		4	
5	精神保健法から精神保健福祉法成立までの経緯を学ぶ①	講義		4	
6	精神保健法から精神保健福祉法成立までの経緯を学ぶ②	講義		4	
7	精神保健福祉法の構成を理解する①	講義		4	
8	精神保健福祉法の構成を理解する②	講義		4	
9	精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割を学ぶ①	講義		4	
10	精神保健福祉法における精神保健福祉士の役割を学ぶ②	講義		4	
11	近年の精神保健福祉士の動向を学ぶ。	講義		4	
12	障害者基本法及び障害者総合支援法の成立の背景について学ぶ。	講義		4	
13	障害者総合支援法における精神障害者の福祉サービスについて学ぶ。	講義		4	
14	精神障害者等を対象とした福祉施策・事業について学ぶ①	講義		4	
15	精神障害者等を対象とした福祉施策・事業について学ぶ②	講義		全体の復習を行う。	4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照。				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	30	0	0	20	
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験（筆記）で授業内容の理解度を評価する。 講義で取り扱った内容を試験範囲とする。				試験問題を添削し、解答用紙を返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	毎回の講義で提出を求めるリアクションペーパーから、授業内容の理解度や考察等を評価する。未提出の場合は減点となる。				次回講義の始めにフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	出席状況及び授業態度、意欲、発言、協調性について、総合的に評価を行う。				適宜、授業内でフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他		<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士国家試験受験資格取得の希望者は必ず履修すること。 ・対面授業のため、大学が公表している感染症対策及び教員が示す授業方法を遵守すること。 ・新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスの変更が行われる可能性がある。 					